

# 6部

ご案内



# 1 新型コロナウイルス感染症への対応について

本冊子1部にて、ご確認をお願いいたします。

また、通信教育部ホームページも随時ご確認をお願いします。

## 2 【重要】郵便物の配達日数について

現在、普通扱いの郵便物の配達日数は中3日程度を要している模様です（土日を挟むと1週間というケースもございました）。そのため、期限に余裕を持ったご発送や、場合によっては速達、書留、レターパック等の利用もご検討ください（本冊子p. 4もご参照ください）。

## 3 学習全般に関するご案内

### ● 「履修状況票」について

履修登録科目、学習進捗状況、単位修得状況等が確認できます。

#### (1) 閲覧方法

① 「TFUオンデマンド」上（PC、スマホ、タブレットより）

② 通信教育部へ発行申請（巻末「各種証明書申込書」を使用）

※科目修了試験の評価通知として無料発送あり（6/15ほか『試験・スクーリング情報ブック2022』1部カレンダー参照）

#### (2) 「履修状況票」の見方

『学習の手引き』5章2節（2016年度以前入学者は6章IV）参照

### ●動画版 各種学習サポートのご案内

#### (1) 動画版「学習ガイダンス」

学習方法やルール、資格取得や諸手続き等について説明いたします。

【閲覧方法】通信教育部ホームページより「学習ガイダンス」→「動画版 学習ガイダンス」の順にクリック（YouTubeでの視聴）。

#### (2) 動画版「学びの入門」

教員からの、学習（レポート、スクーリング、科目修了試験）についてのアドバイスです。新入生向けですが、在学生も是非ご覧ください。

【閲覧方法】通信教育部ホームページより「TFUオンデマンド」にログイン→「セミナー」→「学びの入門」の順にクリック

#### (3) 動画版「入学オリエンテーション」 ※対象：2022年度4月入学者

新型コロナウイルスの影響により中止となったため、Web上にて代替いたします。教職員より、学習を進めるにあたっての具体的なアドバイスや説明をさせていただきます（配信期間：4/15～5/31）。

【閲覧方法】通信教育部ホームページより「TFUオンデマンド」にログイン→「セミナー」→「2022年度入学オリエンテーション」の順にクリック

## 4 発送物のご案内

学生証、TFUオンデマンド ログインID・パスワード・認証コード通知書、  
大学メールアドレス・パスワード通知書

（新入生）4/26までに発送済

履修希望科目登録用紙、学生証有効期限シール

（進級者）学費納入後10日以内

## 5

印刷物記載内容追加・訂正の  
ご案内とお詫び

3月発行の2022年度向け印刷物の誤植は下記のとおりです。『With』154号 p. 40と併せて訂正しご使用願います。大変申し訳ございません。

## ● 『With』154号 2部 4月新入生の方へ

ページ数	訂正事項	訂正内容
p. 11	【単位修得・履修登録の方法】の『学習の手引き』（別冊）の対象入学年次	(誤) 『学習の手引き』 p. 12～31と1・2章（1年次入学者は（別冊）も参照）を読み、 (正) 『学習の手引き』 p. 12～31と1・2章（ <u>1・2年次入学者</u> は（別冊）も参照）を読み、

## ● 『学習の手引き 2022年度入学者用』

ページ数	訂正事項	訂正内容
p. 55	表中の「災害・防災心理学」の履修上の注意	(誤) 記載内容なし (正) <u>オンデマンドのみ</u>
P. 125	【3年次編入者】■福祉心理士の申請について■の表	「心理学関係科目」に科目を追加  科目名 老年心理学B 配当年次 1年以上 履修方法 R or SR 科目単位 2

## ● 『試験・スクーリング情報ブック2022』

ページ数	訂正事項	訂正内容
p. 60	「当日チェックリスト」について	入構後に配付し、ご記入いただきます。

- 『レポート課題集 A - I (社福・精保指定科目編)、A - II (社福・精保指定科目編 2021年度1年次入学者および2022年度1・2年次(編)入学者用) 2022』

ページ数	訂正事項	訂正内容
A - I p. 50、 156 および A - II p. 48、 108	「福祉法学」 「更生保護制度論」 「権利擁護を支える法制度」 「刑事司法と福祉」 上記4科目の2冊めの教科書名	(誤) 『権利擁護論』 (正) 『権利擁護と法』

- 『レポート課題集 A - I 2022』

ページ数	訂正事項	訂正内容
p. 198	「社会福祉援助技術実習指導B」のレポート課題「課題1」の返信用封筒に貼付する切手について	(誤) (定型封筒なら92円切手貼付、あて先明記。または第4種郵便でも可) (正) (定型封筒なら94円切手貼付、あて先明記。または第4種郵便でも可)

- 『レポート課題集 A - II 2022』

ページ数	訂正事項	訂正内容
p. 18	「医学概論」の詳細	詳細が決定しました。本冊子 p. 62~69をご参照ください。
p. 30	「社会福祉原論A」の科目評価基準	(誤) レポート評価60% + スクーリング評価40% (正) レポート評価60% + スクーリング評価 or 科目修了試験40%
p. 37	「社会福祉原論B」の科目評価基準	(誤) レポート評価60% + スクーリング評価40% (正) レポート評価60% + スクーリング評価 or 科目修了試験40%

● 『レポート課題集 B 2022』

ページ数	訂正事項	訂正内容
p. 153	「福祉用具と生活支援（旧科目名：福祉機器論）」の冒頭説明部分の「※科目コード」の科目コード	(誤) ※科目コード DE3121 2019年度までのスクーリング受講者（スクーリング単位2単位） DE3163 上記以外の方（スクーリング単位1単位） (正) ※科目コード <u>DF3121</u> 2019年度までのスクーリング受講者（スクーリング単位2単位） <u>DF3163</u> 上記以外の方（スクーリング単位1単位）

● 「入学時履修登録・学習計画ガイド2022」（出願・合格者に配付）

ページ数	訂正事項	訂正内容
p. 7 (1～4期合格者)	パターン番号「D4」盛岡・1年次入学	「高齢者福祉」盛岡会場スクーリングは <u>ありません</u> 。オンデマンド・スクーリングや科目修了試験で単位修得をしてください。
p. 6 (5期合格者)	「高齢者福祉」盛岡会場スクーリング3/11・12	<b>【オンデマンド・スクーリング】</b> [6期] 6/23～7/15 [15期] 11/24～12/16
p. 8 (1～4期合格者)	パターン番号「D5」東京・1年次入学	「高齢者福祉」東京会場スクーリングは <u>ありません</u> 。オンデマンド・スクーリングや科目修了試験で単位修得をしてください。
p. 7 (5期合格者)	「高齢者福祉」東京会場スクーリング6/11・12	<b>【オンデマンド・スクーリング】</b> [6期] 6/23～7/15 [15期] 11/24～12/16

p. 8 (1～4期 合格者)	パターン番号「D5」東京・1年次入学	「障害者福祉」東京会場スクーリングはありません。 オンデマンド・スクーリングや科目修了試験で単位修得をしてください。
p. 7 (5期合格者)	「障害者福祉」東京会場スクーリング9/17・19	【オンデマンド・スクーリング】 [5期] 6/2～6/24 [11期] 10/13～11/4

●その他、2022年度の変更・留意点（再掲）

『試験・スクーリング情報ブック2022』 p. 30～33を必読ください。

## 6 履修登録に関するご案内

●追加履修登録【無料】

1) 申込について

申込受付期間 5/19～6/20必着

申込手続き 本冊子巻末「追加履修希望科目登録用紙（5～6月）」を郵送。

2) 追加履修登録によるスクーリング受講希望者へ

(1) 履修登録をしていない科目で、スクーリングの受講を希望する場合は、申込締切日までに追加履修登録をしてください。

(2) 6/27までに開講する春期Ⅲスクーリングも、4/8発送の「新型コロナウイルス感染防止に伴う各種対応について（第19報）」にてご案内の2次申込締切までに履修登録していれば受講が可能です。

(3) 10月生は新年度の履修登録を早めに行えば、9月以降の会場スクーリングと11期以降のオンデマンド・スクーリングの受講が可能です。

### 3) 諸注意

- (1) 本来はこの時期の追加履修登録は有料ですが、新型コロナウイルスの影響によるスクーリングの中止などで、学習計画を変更される方も多いと思われますので、無料といたします。
- (2) 正科生はすでに履修登録している科目とあわせた履修登録単位数が『学習の手引き』2章に記載の単位数以上になる場合（年間の上限50単位）、超過履修費（1単位あたり5,000円）が必要です。
- (3) 科目等履修生は追加授業料（1単位あたり6,000円）が必要です。
- (4) 申込後10日間を過ぎても教科書が届かない場合は、至急ご連絡ください（特講科目や教科書配本のない科目を除く）。
- (5) 年度はじめに送付した「履修希望科目登録用紙」を返送せず所持している方は、今回の申込をしなくても、1・2月を除く任意の時期に履修登録ができます。
- (6) 特講科目も含め、スクーリング受講希望科目を追加履修登録される方は、スクーリングの申込みも別途必要です。
- (7) 超過履修費・追加授業料が必要な方へ
  - ① 申込後10日間過ぎて納入依頼書が届かない場合はご連絡ください。
  - ② 納入最終期限は7/5です。スクーリング受講希望科目がある場合、スクーリングの申込締切日以前に納入をしてください。
  - ③ 納入後10日間を過ぎても教科書が届かない場合は、至急ご連絡ください（特講科目や教科書配本のない科目を除く）。
  - ④ 納入時期によってはスクーリング開講日までの教科書送付がお約束できません。
- (8) 10月生科目等履修生の方へ

今回申込の科目も、学習期限（レポート提出8/31、スクーリング受講・科目修了試験受験9/10）までに終わることが必要です。終わられなかった科目の単位修得を希望する場合は、次年度分として再度



の履修登録と授業料納入（1単位あたり6,000円）が必要です。

- (9) その他、『学習の手引き』1章・2章をよくご確認のうえ、手続きを行ってください。

### ●教科書後送科目

『With』154号p.41でご案内の内容に追加で、後送となっていた教科書は下記のとおりです。発送済の教科書が未着の場合は、至急お申し出ください。幼保特例講座の後送は7部でご案内しています。

福祉法学『②権利擁護と法<sup>\*</sup>』 2/28～履修登録者 6月上旬発送予定（発行遅延）

※「福祉法学」の2冊めの教科書名が変更になりました。

社会福祉学入門 3/16～4/5履修登録者 4/12発送済

心理学研究法B 3/31～4/7履修登録者 4/20発送済

国際福祉論 4/3～4/7履修登録者 4/14発送済

ケアマネジメント論 4/5～7 4/14または4/20発送済

公衆衛生学 4/7履修登録者 4/14発送済

スポーツの心理学 4/11～16履修登録者 4/21発送済

4/19～24履修登録者 5/2発送済

社会学と社会システム 4/13履修登録者 4/21発送済

司法・犯罪心理学 4/24～5/1履修登録者 5/6発送済

基礎演習 5/1履修登録者 5/9発送済

教育の歴史と思想 5/1～3履修登録者 5/9発送済

社会学と社会システム 5/1履修登録者 5/9発送済

精神医学 5/1履修登録者 5/9発送済

心理学実験ⅠA 5/1履修登録者 5/9発送済

教育・学校心理学A（教育心理学） 5/1～履修登録者 5月中旬発送予定

## 7 レポート学習に関するご案内

### ●レポート学習等にかかわる教員への質問のご案内（予約制）

『試験・スクーリング情報ブック2022』 p. 32を参照のうえお申込みください。

### ●レポート添削状況

5/11現在、3/23午前中までに通信教育部に到着したレポートで未返却科目は下記のとおりです。添削終了までもう少々お待ちください。その他の科目で未返却科目がありましたらご連絡ください。

「ボランティア論」「医学一般」「人体の構造と機能及び疾病」「社会福祉援助技術論A・B」「精神医学」「精神疾患とその治療Ⅰ・Ⅱ」「精神保健福祉援助技術総論Ⅰ・Ⅱ」「福祉ボランティア活動」「心理学概論」「心理学実験Ⅰ」「児童青年心理学」「障害者・障害児心理学」「司法・犯罪心理学」  
※一部演習・実習指導科目は、受講するスクーリングの日時・担当教員が決まってから約1カ月添削指導に要します。ご了承ください。

### ●客観式レポートについて

解答（提出）方法

「TFU オンデマンド」（Web上）で解答。

※解答方法については、『レポート課題集A-Ⅰ』または『レポート課題集A-Ⅱ』 p. 13参照。

### ●『レポート課題集』はホームページで閲覧可能

本学通信教育部ホームページのアイコン「レポート課題集（シラバス）」からお入りください。PDF版で閲覧可能です。

## 8

## スクーリング・科目修了試験に関する追加のご案内

### ●会場スクーリングの中止や代替について

本冊子 p. 28 「(注) 申込について」を原則に開催 or 中止の判断をしております。中止となったスクーリングについては、申込者へ個別に代替方法をご案内いたします。

現在申込受付中のスクーリングは、下記よりご確認ください。

- ・本冊子 4 部
- ・「新型コロナウイルス感染防止に伴う各種対応について（第19報）」  
→ 4 / 8 郵送済

※通信教育部ホームページ「トピックス」からも閲覧可

### ●Web 科目修了試験（第1・2回） 実施案内

本冊子 p. 23～25参照（申込締切：第1回 5 / 31 第2回 7 / 26）

## 9

## メールアドレス登録のお願い

学生の皆さんに少しでも大学を身近なものに感じていただくために、メール配信サービスを実施しています。

現時点でメールが届いている方は登録済ですが、メールが届いていない方は未登録なので、下記【登録方法】を参照のうえご登録ください。

### 【登録方法】

『学習の手引き』5章1節（2016版以前は10章）「メールアドレス登録」をご確認ください。

### 【お願い】

※オンデマンド・スクーリング利用（予定）者でメールを受信していな

いは、必ず登録してください。

※携帯電話の「ドメイン指定受信機能」を利用されている方は「@tfu.ac.jp」を受信できるように設定してください。

### 【2021年度以降入学の方へ】

2021年度以降入学の方は、初期設定として「大学メールアドレス」が登録済みとなっておりますので、追加の登録等は不要です。本学からのメール配信等は「大学メールアドレス」にてご確認ください。

## 10 10月生(進級者)の方へ

10月生・正科生の新年度学費納入依頼書の発送は7/21の予定です。

進級手続きの詳細は『学習の手引き』6章(2016版以前は4章)および次号の『With』をご覧ください。

### ●転学科希望者へ

10月から転学科を希望する方は、『学習の手引き』6章(2016版以前は4章)をよく読んで、7/1~20の間に「転学科希望」の旨と必要事項を記入した用紙を郵送ください。転学科の手続き書類をお送りします。

※3年次編入学者で既に80単位履修登録をしている場合など、超過履修費が大幅にかかるため、再入学した方がよい場合もあります。

## 11 福祉心理学科の方へ

### ●卒業研究2回目ガイダンス 申込案内

福祉心理学科で「卒業研究」の申込を行う方は、「卒業研究2回目ガイダンス」の受講が必須となります。

『レポート課題集C（心理専門編）2022』p. 300～310や『福祉心理学科  
スタディ・ガイド』をよくご確認のうえお申込みください。

（2回目ガイダンス申込締切（必着））

- ・2022年10月5日締切の卒業研究申込を行う方→7/4
- ・2023年4月5日締切の卒業研究申込を行う方→7/4 or 11/7 or 2/6

## 12 通信教育部からのご報告

### ●3月卒業者・卒業証書授与式を行いました

3/17に令和3（2021）年度卒業証書授与式を挙行了しました。

本年3月卒業者は、3/17付卒業者209名、3/31付卒業者24名、合計  
233名でした。内訳は下記のとおりです。

学 科 社会福祉学科：192名 福祉心理学科：41名

年代別 20歳代：73名 30歳代：46名 40歳代：48名 50歳代：43名  
60歳代：21名 70歳代：2名

地域別 北海道27名 青森6名 岩手16名 秋田10名 山形15名

宮城72名 福島11名 栃木2名 茨城1名 埼玉8名 千葉3名

東京3名 神奈川12名 新潟41名 静岡1名 山梨2名 愛知1名

島根1名 広島1名

卒業学年 4年次：135名 5年次：46名 6年次：21名 7年次：7名

8年次：12名 9年次：7名 10年次：5名

入学年次別 1年次入学：58名 2年次編入学：1名

3年次編入学：174名

卒業まであきらめずに一步一步ご努力されたことと思います。

在学生の皆さんも卒業をめざして頑張ってください。

3月卒業者からお寄せいただいたアンケート結果は、今後の『With』

や通信教育部ホームページなどで紹介します。

## 13 仙台駅東口キャンパスのご案内

下記につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休業や特別対応となっております。

再開時期等は、各HPやツイッター等にてお知らせいたします。

- (1) TFUギャラリー ミニモリのご案内（1・2階）  
【問い合わせ・HP】 022-766-8833（仙台駅東口キャンパス事務局）  
<https://www.tfu.ac.jp/minimori/>
- (2) 学食「TFU Cafeteria Olive」のご案内（1階）  
【問い合わせ・HP】 022-762-7827  
<https://www.cafeteriaolive.com>
- (3) 生涯学習支援室から公開講座のご案内  
【問い合わせ・HP】 TEL：022-766-8834 FAX：022-766-8835  
E-mail：life@tfu.ac.jp  
<https://www.tfu.ac.jp/lc/>
- (4) 芹沢銈介美術工芸館のご案内 p. 70参照
- (5) 予防福祉健康増進推進室からのご案内 p. 102参照

## 14 その他のご案内

- 「睡眠改善指導者（大学認定睡眠改善インストラクター）」認定試験について

【試験日】2022年10月2日(日)

【会場】東北福祉大学 国見キャンパス（予定）

（広島大学、広島国際大学、同志社女子大学、江戸川大学、専修大学でも受験可。希望者は認定試験申込用紙にその旨を記載すること）

【申込】以下①②を通信教育部へ提出（締切：～7/31必着）

①認定試験申込書（本冊子巻末または通信教育部HPからダウンロード）

②各種証明書申込書（本冊子または『学習の手引き』巻末様式）

→ 「単位修得成績証明書」1通、300円分の定額小為替を同封

※返信用封筒は不要です。

【受験資格】『レポート課題集B 2022』p. 90参照

【備考】日本睡眠改善協議会へのお問い合わせはお控えください。本件に関する問い合わせは原則通信教育部まで。

- 福祉心理士について

指定科目が追加されました。詳細は本冊子7部p. 81をご確認ください。

<b>医学概論</b>			科目コード	<b>CB3078</b>
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
<b>2</b>	<b>R or SR</b> (講義)	<b>2</b> 年以上	<b>船渡 忠男</b> <b>澤田 悦子</b>	



※スクーリングを別教員（井手貴治先生）が担当いたします。

## 科目の概要

### ■科目の内容

社会福祉関係職種に従事する人にとって、生活支援技術の根拠となる人の身体構造と心身機能について理解することは不可欠です。人体や老化、疾病などの医療の基礎的な知識を持つことは、利用者の医療と一緒に考え、安全な介護サービスを提供できるためだけでなく、私たちがより健康的に生活するためにも大切です。

本科目では、基本的な人体の構造と機能を理解したうえで、ライフステージにおける心身の変化にともなう健康と疾病のとらえ方について理解します。また、直面する頻度の高い障害や疾病について医学的に理解し、人々の健康に及ぼす要因や健康課題を解決するための対策を考えます。

医学概論には、予防対策や行政の取り組みなど、医療にかかわる広範囲な内容を含みますが、時間が限られるため、障害、リハビリテーション、国際生活機能分類（ICF）など、他の科目と重複する分野については、レポート課題には入れませんでした。しかし、非常に重要な分野ですので、教科書をしっかり読んで、医学概論で学んだことと結び付けて考えられるようにしておいてください。

### ■到達目標

- 1) 生活支援技術の根拠となる人体の主な器官とその生理的機能について説明できる。加齢に伴う生理的機能の低下と、高齢者に多い疾患（慢性腎臓病、高血圧、認知症など）との関連について説明できる。
- 2) 日本人の主な死因と、生活習慣や生活習慣病との関連について説明できる。
- 3) 介護保険及び、介護保険の特定疾病について説明できる。高齢者に多い神経疾患や精神疾患の特徴について説明できる。
- 4) 大脳の機能と関連させて、認知症の中核症状と、その主な原因疾患について説明できる。
- 5) 公衆衛生学の観点から、日々直面する感染症と感染症対策について考え、対処法を説明できる。

### ■教科書

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座[共通科目] 1 医学概論』中央法規出版、2021年  
(スクーリング時の教科書) 上記教科書は持参してください。配付資料を用いながら、



講義を進めます。

### ■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「専門的知識」「他者への関心と理解」「社会への関心と理解」「問題解決力」を身につけてほしい。

### ■科目評価基準

レポート評価10%+スクーリング評価or科目修了試験90%

### ■参考図書

- 1) 辻一郎ほか著『シンプル衛生公衆衛生学2022』南江堂、2022年
- 2) 『NHKきょうの健康』月刊誌 NHK出版
- 3) 岡田靖著『別冊NHK今日の健康・脳梗塞』NHK出版、2017年
- 4) 繁田雅弘著『別冊NHK今日の健康・家族のための認知症ケア』NHK出版、2020年
- 5) 富野康日巳著『別冊NHK今日の健康・慢性腎臓病』NHK出版、2013年
- 6) 田沼久美子ほか著『しくみと病気がわかるからだの辞典』成美堂出版、2007年（3DビジュアルDVD付、2013年）

## スクーリング

### ■スクーリングで学んでほしいこと

社会福祉関連の職種で将来必要となる、正常な人体の基本的な構造と機能、身近な疾病（生活習慣病など）、高齢者の特徴と高齢者に多い疾患などについて理解することを学習目標とします。また、講義では国家試験問題やその類題の解説なども行う予定です。

### ■講義内容

回数	テーマ	内 容
1	ライフステージにおける心身の変化と健康課題	ライフステージにおける心身の特徴、心身の加齢・老化、ライフステージ別の健康課題
2	健康および疾病の捉え方	健康と疾病の概念、国際生活機能分類（ICF）
3	身体構造と心身機能	人体部位の名称、器官系と臓器の役割
4	疾病と障害の成り立ちおよび回復過程	疾病の発生原因と成立機序
5	リハビリテーションの概要と範囲	リハビリテーションの定義、目的、対象、方法

回数	テーマ	内 容
6	疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション①	感染症、神経疾患、認知症、高次脳機能障害、脳血管疾患、心疾患、内分泌・代謝疾患、呼吸器疾患、腎・泌尿器疾患、消化器・肝胆膵疾患、骨・関節の疾患、血液・免疫・アレルギー疾患
7	疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション②	眼科疾患、視覚障害、耳鼻咽喉疾患、聴覚障害、平衡機能障害、口腔疾患、婦人科・産科、精神疾患、精神障害、発達障害、小児科疾患、肢体不自由、知的障害、高齢者に多い疾患、生活習慣病（総論）、内部障害、悪性腫瘍と緩和ケア
8	公衆衛生	公衆衛生の概要、健康増進と保健医療対策
9	スクーリング試験	

#### ■講義の進め方

上記講義内容にそって、配付資料を用いながら、講義を進めます。

#### ■スクーリング 評価基準

スクーリング試験100%（持込可）。配付資料から出題します。

#### ■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

事前に教科書に目を通して、用語に慣れておいてください。

### レポート学習

#### ■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	ライフステージにおける心身の変化と健康課題（第1章）	ライフステージにおける心身の特徴について理解し、ライフステージ別の健康課題について考える。 キーワード：遺伝子と環境、加齢と老化、生理機能の加齢変化、老年症候群	胎児期から青年・中年期までの身体および精神の成長・発達の特徴を知り、遺伝子と環境による影響を考える。 生理機能の加齢変化の特徴を知ることで、高齢者の特徴や高齢者が老年症候群に陥りやすいことを理解する。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
2	健康および疾病のとりえ方 (第2章)	健康の定義を学び、疾病と健康寿命について考える。国際生活機能分類 (ICF) の基本的枠組みを学ぶ。 キーワード：ICF、健康状態、生活機能低下	国際生活機能分類 (ICF) の基本的考え方と概要を学び、WHOによる健康状態と障害の分類を理解する。
3	身体構造と心身機能① (第3章)	人体各部位の名称と、人体を構成する器官系と臓器の名称を学ぶ。 キーワード：心臓、肺、脳、腎臓	医学の基礎用語、医学の基礎知識 (器官、構造と機能) を学ぶ。特に加齢変化の大きい腎臓や肺、免疫系の機能について考える。
4	身体構造と心身機能② (第3章)	人体を構成する器官系と臓器の機能 (生理機能) を学ぶ。身体機能の調節について学ぶ。 キーワード：循環器系、呼吸器系、神経系、内分泌系、ホルモン、血液、免疫	医学の基礎用語、医学の基礎知識 (人体の恒常性、身体機能の調節) を学ぶことで、健康状態や疾病を理解しやすくなる。
5	疾病と障害の成り立ちおよび回復過程 (第4章)	疾病の発生原因を、大きく外的要因と内的要因に分類して考える。 キーワード：免疫反応、抗原、抗体	多くの疾病における発生原因と、さまざまな病因により起こる生体反応について学ぶ。
6	リハビリテーションの概要と範囲 (第5章)	リハビリテーションと医療的リハビリテーションについて学ぶ。対象となる疾患・障害の概要を学ぶ。 キーワード：ADL、IADL、QOL、内部障害、高次脳機能障害、廃用症候群	リハビリテーションの概要を理解し、傷害の概要、リハビリテーションにおける障害評価について学ぶ。
7	疾病と障害① (第6章第1節)	主な感染症について学ぶ。 キーワード：新型コロナウイルス感染症、結核、日和見感染症、院内・施設内感染対策、ワクチン	感染症には、それぞれ症状だけでなく、感染経路、潜伏期間に特徴がある。さらに病原体の特性を知ることによって感染予防対策を講じることができる。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
8	疾病と障害② (第2節)	認知症の定義及び中核症状、 行動・心理症状、代表的な認 知症について学ぶ。 難病、神経難病、脳機能性疾 患について学ぶ。 キーワード：中枢神経、高次 脳機能、パーキンソン病、筋 萎縮性側索硬化症	原因疾患により、認知症の症 状が違うことを理解する。 介護保険の特定疾患には、難 病の特定疾患と重複している 神経難病があるので、特に多 いパーキンソン病などについ て調べておくとよい。
9	疾病と障害③ (第3, 4節)	脳血管疾患について学び、予 防を考える。虚血性心疾患や 高血圧などの心疾患について 学ぶ。 キーワード：生活習慣病、脳 出血、脳梗塞、狭心症、心筋 梗塞、高血圧	日本人の死因の上位を占める 脳血管疾患や虚血性心疾患 は、生活習慣と深くかかわる 生活習慣病の一つであり、生 活習慣との関連や発症予防に についても考えておこう。
10	疾病と障害④ (第5, 6節)	内分泌器官からのホルモン分 泌異常による代謝疾患につい て理解する。 高齢者に多い肺疾患などの呼 吸器疾患について理解する。 キーワード：糖尿病、糖尿病 の合併症、脂質代謝異常、慢 性閉塞性肺疾患	糖代謝異常による糖尿病と、 その治療や合併症について学 ぶ。脂質代謝異常、尿酸代謝 異常などの代謝疾患について 学ぶ。 呼吸器疾患と生活習慣につい て考える。
11	疾病と障害⑤ (第7, 8, 9節)	腎・泌尿器疾患について学ぶ。 消化器・肝胆膵疾患について 学ぶ。 加齢に伴い増加する骨・関節 疾患の特徴を理解する。 キーワード：慢性腎臓病、骨 粗鬆症	急性腎障害、慢性腎臓病につ いて理解する。 高血糖だけでなく、加齢に よっても腎機能が低下するこ とを理解する。 消化器系（肝臓など）の疾患 (癌など) について学ぶ。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
12	疾病と障害⑥ (第10, 11, 12, 13節)	血液・免疫・アレルギー疾患を学ぶ。 加齢変化による眼科疾患と視覚障害について学ぶ。 耳鼻咽喉疾患、聴覚障害、平衡機能障害口腔疾患について学ぶ。 キーワード：嚥下障害、誤嚥性肺炎	白血球やリンパ球は、免疫を担う重要な作用を持つが、過剰な免疫反応をおこし、食物アレルギーなどの原因となることを理解する。
13	疾病と障害⑦ (第14, 15, 16節)	婦人科疾患と産科疾患について学ぶ。 発達障害、精神疾患、精神障害について学ぶ。 小児科疾患の特徴について学ぶ。 キーワード：発達障害、うつ病、統合失調症	子宮頸癌、子宮体癌などの定期検診について考える。 先天性疾患の原因には、環境要因と遺伝的要因があることを理解する。
14	疾病と障害⑧ (第17, 18, 19節)	高齢者に多い疾患について学ぶ。 生活習慣病の病態と予防について学ぶ。内部障害の概要を学ぶ。 悪性腫瘍と緩和ケアについて学ぶ。 キーワード：老化、老年症候群、廃用症候群、フレイル、フレイルサイクル、生活習慣病、メタボリックシンドローム、内部障害	加齢による生理的な機能の変化を学び、老年症候群との関連を理解する。 内臓脂肪の過剰蓄積によって生じるメタボリックシンドロームについて理解する。
15	公衆衛生 (第7章)	公衆衛生の目的について理解する。 予防医学について学び、公衆衛生の保健対策、疾病対策について理解する。 キーワード：介護保険、特定健康診査	疾病の予防対策の一次予防、二次予防、三次予防について理解する。

## ■レポート課題

1 単位め	「TFUオンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
2 単位め	<b>【説明型レポート】</b> 下記①～⑥を全て説明しなさい。(各300字を目安に計1,800字以上2,000字程度にまとめる)。 ①生活習慣病について説明せよ。特に、死因に関わる重大な生活習慣病(がん、虚血性心疾患、脳血管疾患)については詳しく説明せよ。 ②加齢に伴う生理機能の低下について述べよ(腎臓など、特に低下が顕著な器官については詳しく)。 ③認知症およびその主な原因疾患と中核症状について説明せよ。 ④感染症と感染症対策(感染症法については簡単に、または省いても良い)について説明せよ。 ⑤高齢者に多い神経疾患について述べよ(認知症は③と重複するので省く)。可能なら、特定疾患や特定疾病に関係する疾患について調べてみる。 ⑥健康寿命を延伸するために、教科書『医学概論』pp.206のフレイルサイクルにおいて、どの段階で介入するか例を考えよ。自分なりに考えることを評価するので、間違えてもかまわない。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

### ◆注意◆

- 1) 論述式の【説明型レポート】は年度により問題が異なり、問題文も長いので、レポート用紙の「課題」欄には、「2022年の問題に解答する」というように、課題の年度のみを記入し、問題文は記入しないでください。「解答欄」にも、問題の番号のみを記入し、問題文は記入しないでください。
- 2) 簡潔明瞭にまとめてください。定義を最初に記述し、詳細や例はその後記述するとわかりやすくなります。
- 3) 教科書や文献をそのまま写すのではなく、自分自身の言葉で、要点をまとめなおしてください。

## ■アドバイス

医学概論では、人体の構造と機能について学び、疾病や障害についての基本的な理解をします。ここで学ぶ医学の基礎知識は、広い範囲のごく一部をまとめてあり、簡略化されているが故に、分かりにくい面が避けられません。

テキストを、まず一通り最後まで目を通し、概略を理解したうえで課題に取り組んでください。機能と関連する疾病が別に記載されていたり、同じ疾病が何か所かに分れて記載されていたりすることがありますが、総合的に関連付けられるような学び方が大切です。例えば、医学概論には、「介護保険の特定疾病」や、「難病の特定疾患」の記述は

ありませんが、関連する神経疾患などについては記載されています。他の科目で出てきたときに、「医学概論のあそこに記載されていた」と再度確認できるような学び方が大切です。レポートを書くにあたって、もし余力があれば、他の教科書で特定疾病や特定疾患について調べてまとめると良いレポートになります。他から関連した情報を集めるのは、後の仕事にも役に立ちます。努力の評価を心がけますので、疑問について調べてみることをお勧めします。

**1** 単位め  
アドバイス

教科書をよく読み、「TFUオンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

**2** 単位め  
アドバイス

課題①：生活習慣病については14回目で簡単にふれています。具体的な疾病は9回目などに記載されています。他にも、②の腎臓の機能なども分散された記載が多いので、自分で関連させてまとめてください。

課題⑤：パーキンソン病は必ず記載してください。高齢者に多い神経疾患であり、進行してレビー小体型認知症を発症することが多いです。

課題⑥：例えば、「週一回の外出が寝たきり予防になる」という報告があります。悪循環のどこを断ち切る可能性があるか考える参考にしてください。内容的には、社会福祉法第4条と社会福祉法第109条を軸に、地域福祉の定義に照らしてまとめていくと良いでしょう。

■レポート 評価基準

- 1) 2単位めは説明型レポートなので、要点を簡潔に、自分の言葉でまとめる（教科書の丸写しはしない）。
- 2) 例えば「Aについて説明せよ」と問われたら、「Aの定義」を記述する（Aを含む文ではないので注意する）。

科目修了試験

■評価基準

- 1) 教科書などから学んだ知識が感じられる答案であること。一般常識や、仕事上で得た知識だけでは不十分なので注意する。
- 2) 問いに対する答えが十分であれば、少々字数が不足してもかまわない。内容で判断するので、字数を正確に数える必要はない。内容や字数が不足しているときには、学んだ他のことと関連させて述べるとよい。